



# 足羽川用水

疏水百選に選定された足羽川用水は、福井市街地から南東へ8km、足羽川左岸に位置する福井市南東部一円約800haの農地をかんがいしています。

近くには、戦国時代の朝倉氏ゆかりの「一乗谷朝倉遺跡」があり、かつては朝倉氏一乗本城の出城であった榎山城の城下町として栄えた歴史的環境を持つ地域です。

榎山地区の街並みを流れる徳光下江用水は、約400haをかんがいする農業用水ですが、歴史を有する足羽川用水の一角を担っています。



徳光用水は、古くは荘園の時代から生活用水としても利用され、両側の街道とともに多くの人々に親しまれてきました。

しかし、近年の生活排水の増加により、水質は悪化し、かつての美しい流れは陰を薄めてきました。

このため用水路の改修と共に親水空間を創出し、歴史と自然と人々が調和する豊かでうるおいのある快適な生活環境を生み出すことを目的として、地域ぐるみで水環境整備に取り組みました。



その結果、かつての清流がよみがえり、安らぎのある生活を提供しています。

また、この足羽川用水は、越前・日本海ハイ！ウォークツアー実行委員会が開催する県内最大規模のウォーキング大会である『越前・日本海ハイ！ウォークツアー』のコースとして親しまれています。平成16年の福井豪雨により被害を受けたため、一時コース利用が中断されましたが、災害を乗り越え、平成18年より再びコースとして復活し、再び数多くのウォーカーの目を楽しませています。

